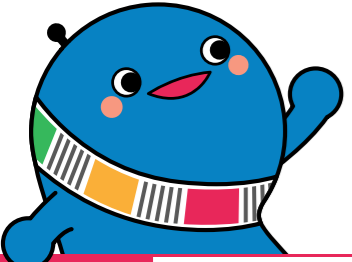


新報小中学生新聞



りゅうPON!

きょうの紙面



3 平和を学ぼう レッチャレで!

6 今さら聞けない 「そんたく」って?

4.5 大切な慰霊の日 特別編です

8 みんなの言葉と絵で いっぱい!

第333号 毎週日曜日発行 琉球新報社NIE 推進室 〒900-8525 那覇市天久905番地 TEL 098(851)5190 / FAX 098(865)5222 / ryu-pon@ryukyushimpo.co.jp / LINE



※画像は県公文書館提供

そこが知りたい! なるほどちな〜ニュース
沖縄が戦場になったのはなぜ?
本土決戦に備える時間稼ぎ

りゅうちゃん和個性的なコメンテーターがニュースを分かりやすく紹介する「そこが知りたい! なるほどちな〜ニュース」。今回のテーマは「沖縄戦」です。72年前、沖縄は戦場となり、多くの人々が命を落としました。どのようにして沖縄が戦争に巻き込まれていくのか、政治と経済の事情通「石がんとーさん」とりゅうちゃんが解説します。

もう少しで「慰霊の日」だが、何の白か分かるかな?
 沖縄戦が終わった日!
 うーん。少し違うな。
 正確に言うと6月23日は、沖縄で米軍と戦っていた日本軍の組織的な抵抗が終わった日だ。沖縄で指揮していた日本軍の牛島満司令官が自決したんじゃないよ。22日という説もあるが、戦争を終わらせるためには国同士で約束を結ばねばならないが、それが行われたのはもう少し後だった。だから、23日を過ぎて亡くなった人はたくさんおる。
 ええ。でもなんで沖縄で戦争があったの?
 当時、日本は世界の国々と戦争をしていた。ドイツやイタリアと手を組んで、アメリカやイギリスなどの連合国と戦っていたんじゃないよ。
 ①第2次世界大戦 じゃ。日本軍は1941年12月にハワイの真珠湾を空襲し、アメリカのアジア・太平洋戦争が始まった。
 米軍はそのあとすぐに沖縄に攻めて来たの?
 いや、最初は日本が持っていたアジアや南太平洋の島々の植民地が戦場となった。戦いが長期化するにつれて、物資の乏しい日本は劣勢になったんじゃないよ。そして日本本土を攻める拠点とするため、沖縄を占領しようとしていた米軍がどんどん迫ってきた。
 なるほど。
 44年10月10日には大きな空襲があった。日付にちなんで「10・10空襲」と呼ばれているが、聞いたことあるかな? 奄美から八重山まで南西諸島全域で大きな被害があり、668人が亡くなったんじゃないよ。それから次第に空襲が激しくなっていった。
 米軍が上陸する前に、もたかさんの人が亡くなっていたんだね。
 空襲が激しくなると、日本軍は「本土決戦」の準備を始める。少しでも本土に攻めてくる米軍の戦力を消耗させるために、日本軍は沖縄で時間を稼ぐという「持久戦」を考え、決行したんじゃないよ。そのせいで多くの住民が地上戦に巻き込まれ、犠牲になったんじゃないよ。
 ひどいりゅう〜。
 そんな戦争に巻き込まれ、生き残った人はもう70歳以上になる。わしらは体験者から実際に話を聞ける最後の世代じゃ。つらい記憶を話すことは苦しいことだが、自分の体験を今の子どもたちに伝えたいと勇気を出して伝えている体験者もある。南風原町に住む野原清子さん(79)もその1人じゃ。南風原町で生まれ育ち、7歳の頃に沖縄戦を体験した野原さんの物語を読んで、「もし、自分だったら」と考えてみてほしい。野原さんの体験から当時の様子を想像してみよう。
 (4、5面に続きます)

①第2次世界大戦 イタリア、ドイツ、日本のファシズム諸国とイギリス、アメリカ、フランス、ソ連などの反ファシズム諸国が対立した大戦。第1次世界大戦後、ヨーロッパを中心とした国々では独裁的なファシズム政権が勢力を増していました。それに危機感を抱いた国々が反発し、世界各地で戦争が起きました。イタリア、ドイツと同盟を結んでいた日本は、石油などの資源を求めて東南アジアへ軍隊を進めようとしていましたが、こうした動きをアメリカに警戒されたため対立が深まり、アジア・太平洋戦争へと進んでいきました。

登場するのは 石がんとーさん
 政治・経済などの話題に強い硬派なおおやじ。真面目でウチナー愛が強くてちょっと涙もろい。年齢不詳。いつも三線を携えている。

えっ!? 先生! 今日学校ないの?
 1944年10月10日。いつものように学校に行ったら私は、先生の指示ですぐに家へ戻ることにした。
 敵が来て空襲が始まるという話よ。みんな気を付けて帰らなさい!
 キヨちゃん早く帰ろう!
 うん...
 壕に、壕に避難よ。こっちはもう危ないよ。
 屋敷に戻ると母が...
 怖い... 外に誰もいない...
 空襲が激しくなると、日本軍は「本土決戦」の準備を始める。少しでも本土に攻めてくる米軍の戦力を消耗させるために、日本軍は沖縄で時間を稼ぐという「持久戦」を考え、決行したんじゃないよ。そのせいで多くの住民が地上戦に巻き込まれ、犠牲になったんじゃないよ。
 ひどいりゅう〜。
 そんな戦争に巻き込まれ、生き残った人はもう70歳以上になる。わしらは体験者から実際に話を聞ける最後の世代じゃ。つらい記憶を話すことは苦しいことだが、自分の体験を今の子どもたちに伝えたいと勇気を出して伝えている体験者もある。南風原町に住む野原清子さん(79)もその1人じゃ。南風原町で生まれ育ち、7歳の頃に沖縄戦を体験した野原さんの物語を読んで、「もし、自分だったら」と考えてみてほしい。野原さんの体験から当時の様子を想像してみよう。
 (4、5面に続きます)

あなたの「知りたい」をお手伝いします!

沖縄関係の情報収集の力強い味方 琉球新報データベース

- 1 検索 キーワード検索
- 2 記事見出し一覧
- 3 本文表示

インターネットを使って琉球新報の記事を検索、閲覧できるデータベースサービスです。1998年1月から琉球新報に掲載された沖縄関係の記事を収録。ニュース、地域の話、各種記録など76万件余の記事が「琉球新報データベース」から閲覧できます。

こんな場面で使われています!

- NIEに!** 新学習指導要領では、多くの教科に「新聞の活用」が盛り込まれています。データベースを活用すれば、教材に適した記事を簡単に検索できます。データベースの利用を通じて、情報検索の仕方を子どもたちに学ばせることもできます。
- 受験勉強に!** 最近の入試では大学・高校・中学を問わず、時事問題が多く出題されています。データベースを活用して主要ニュースをおさらいすれば、受験対策になります。
- 就職活動に!** 各企業の面接では選考が進むにつれて、業界やその会社の事業に関する質問が増えてきます。内定者は「新聞やデータベースを使い、面接で盛り込めそうなネタを探しました」と話しています。
- ビジネスに!** 企業の人事、商品開発、企業人プロフィールなどが満載で、円滑な交渉の手助けを実現します。経営企画、コンサルティング、商品企画、営業戦略の立案でご利用下さい。

琉球新報 データベース 料金表

(注)ご利用期間は12か月から。料金は一括前払いです。下記は税抜き価格です。

- 【大学/公共図書館】 接続ID数 1 2,660円/月
- 【企業/自治体/各種団体】 接続ID数 1 5,000円/月
- 【小・中・高校】 接続ID数 10 2,000円/月